

令和7年度 泥亀地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

担当地域は人々が多く行きかう駅前の商店街や住宅地、大規模マンション等があり、多種多様な世代、世帯構成が共存しています。また、歴史的・文化的にも由緒ある場所です。3つの連合町内会・地区社会福祉協議会があり活動も活発ですが、中心的役割を担う後継者育成が課題となっています。引き続き、担当する3つの地区の地域活動に6職種で積極的に参加し、ケアプラザの事業等で好評であったプログラム等の講師の紹介・調整などを行い、地域住民が無理なく活動を続けていける支援を継続したいと考えます。また、閉じこもりの方、認知症の方、ヤングケアラー、ダブルケアラーなど支援を必要とする方の早期発見も課題です。それらを解決していくには、担当エリアの諸機関と情報共有できる関係構築が重要であり、積極的に向き、顔と顔が見えるネットワークの構築を大切にしていきます。そして、区域計画・地区別計画の推進に向け、地域支援チームの一員として地域で生まれるインフォーマルサービスや介護予防への取組等を支援・周知していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☒	☐	チームオレンジの取り組みをスタート。地域住民や企業、商店、事業所等に向けてチームオレンジの理念について知っていただけるよう、認知症サポーター養成講座などの取り組みを行います。
☐	☒	「買い物を通じた交流 見守りの場づくり」において、区内で同様の取り組みを行っている団体等と情報交換を実施。互いのノウハウを共有し、より多くの住民が参加いただける場になるよう支援します。
☐	☒	地域支援を行う中で、担い手や支援者の後継者不足や負担軽減が叫ばれています。現在の地域支援者に負担が重ならないように、地域活動支援者の支援を行うと同時に、新たなプレーヤーの発掘・育成を共に行います。ケアプラザ事業等で好評であったプログラム等のノウハウや講師情報を地域と共有し、支援者の負担感軽減に努めます。
☐	☒	いきいきセンター内の各機関や地元の事業所、企業、商店と連携し自治会館等の場に出向いての講座や各種啓発を多世代にむけて開催していきます。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント